

日本福祉大学の名称の変更について（届出）

令和5年5月31日

文 部 科 学 大 臣 殿

学校法人日本福祉大学
理事長 丸山 悟

このたび、下記の事項について、学校教育法施行規則第2条の規定により、別紙資料を添えて届け出ます。

記

- ・ 国際福祉開発学部 国際福祉開発学科の名称の変更（国際学部 国際学科）

変更の事由及び時期を記載した書類

事 項	記 入 欄			
計 画 の 区 分	学部及び学部の学科の名称変更			
フ リ ガ ナ 設 置 者	ガッコウホウジシ ヌホフクシダ イバク 学校法人 日本福祉大学			
フ リ ガ ナ 大 学 の 名 称	ニホフクシダ イバク 日本福祉大学 (NIHON FUKUSHI UNIVERSITY)			
名称変更の内容	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>(現在の名称)</p> <p><u>国際福祉開発学部</u></p> <p>英訳名 (<u>Faculty of International Welfare Development</u>)</p> <p><u>国際福祉開発学科</u></p> <p>英訳名 (<u>Department of International Welfare Development</u>)</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> <td style="width: 40%; vertical-align: top;"> <p>(変更後の名称)</p> <p><u>国際学部</u></p> <p>英訳名 (<u>Faculty of Global Studies</u>)</p> <p><u>国際学科</u></p> <p>英訳名 (<u>Department of Global Studies</u>)</p> </td> </tr> </table>	<p>(現在の名称)</p> <p><u>国際福祉開発学部</u></p> <p>英訳名 (<u>Faculty of International Welfare Development</u>)</p> <p><u>国際福祉開発学科</u></p> <p>英訳名 (<u>Department of International Welfare Development</u>)</p>	→	<p>(変更後の名称)</p> <p><u>国際学部</u></p> <p>英訳名 (<u>Faculty of Global Studies</u>)</p> <p><u>国際学科</u></p> <p>英訳名 (<u>Department of Global Studies</u>)</p>
<p>(現在の名称)</p> <p><u>国際福祉開発学部</u></p> <p>英訳名 (<u>Faculty of International Welfare Development</u>)</p> <p><u>国際福祉開発学科</u></p> <p>英訳名 (<u>Department of International Welfare Development</u>)</p>	→	<p>(変更後の名称)</p> <p><u>国際学部</u></p> <p>英訳名 (<u>Faculty of Global Studies</u>)</p> <p><u>国際学科</u></p> <p>英訳名 (<u>Department of Global Studies</u>)</p>		
名称変更の時期	令和6年4月1日			
新名称の対象年次	第1年次			
名称変更の理由	<p>国際福祉開発学部は、「国際的な視野に立つ福祉開発」を研究対象の中核として、「福祉を理解し、英語を駆使して、組織運営と地域貢献を担える人材」の育成を目指して、地球市民に求められる「総合的教養の修得」や英語コミュニケーション能力および組織運営能力の獲得を目標とする「幅広い職業人養成」を中軸とした教育課程を特色に2008（平成20）年度に開設された。</p> <p>学部開設時には、社会福祉士国家試験受験資格に対応した教育プログラムを有していたが、2013（平成25）年度からは、国の法改正を踏まえ、国家試験受験資格への対応を取りやめ、ふくしまインスピレーションの醸成は大学共通の教養教育として行いつつ、学部としては、地球市民としての教養教育を基礎に、グローバルな視点、そして、多面的な視点から、地域における連携や協働を通して問題解決を図ることのできる人材の養成を目指すこととした。ディプロマ・ポリシーを、地域社会と世界の人々の持続可能な「幸せ」のために、国際的なチームで協働して地球市民としての責任を果たすことができる人に学位を授与することとし、それを踏まえたカリキュラム再編を行った。さらに、2017（平成29）年度からは、本学部独自の「国際性」を具現化するために、アジアを中心に国内外でのフィールドを重視した学びの展開による実践力や協働力の強化を通して多文化共生社会を牽引する人材の養成を目的として、大幅なカリキュラム改革を行った。具体的には、多くの科目で四半期開講制を導入し、4年間での卒業機会を担保した上で、国内外での留学、フィールドワークやインターンシップ他の主体的な学習が実施可能となるアクティブラーニング期間（2年次11月～3年次5月）を設置した。加えて、日本社会における外国人住民、留学生、技能実習生の増加に伴う日本語教育ニーズへの対応、そして、多文化共生社会の推進のための人材の養成に向けて、日本語教師養成プログラム（副専攻）を開設した。</p> <p>2021（令和3）年度からは、さらに、持続可能な開発目標（SDGs）の達成、共生社会の実現、DXの推進等、これからのグローバル社会に対応するために、また、学園のグローバル化指針である「日本福祉大学グローバル化ビジョン2020-2024」や本学部の地域連携ポリシーに沿った取り組みを強化するために、上位学年（3・4年生）の英語科目の充実化、日本語教師養成プログラムの主専攻化（日本語教師の国家資格化に向けた対応を含む）、データサイエンス系科目の新設、グローバルフィールドインターンシップ等の認定科目の増設をはじめとして科目の充実化を行った。合わせて、この間、オンラインでの国際交流や協働を含めたICTの積極的な活用を進めてきた。実際に、在籍している留学生や外国にルーツを持つ学生の出身国はアジアを中心に多岐にわたり、学生は日頃から「異文化理解」や「多様性の尊重」を意識した学習環境の中で学びを行っている。</p> <p>現在、本学部の教育プログラムは、学部開設当初と比較して、グローバルアジェンダであるSDGsの理念をローカルな文脈の中で位置づけていくこと等、地域における「共生」の実現に焦点を当て、また、国際学全体に通底するマクロからミクロまでの普遍的な知見の習得と国内外の地域における連携や協働を通じた主体的な学習を組み合わせており、幅広い分野・領域に拡大している。この学部教育の特徴が明確にわかるように、2024（令和6）年度から国際福祉開発学部から国際学部へと学部名称を変更する。また、学科名についても国際福祉開発学科から国際学科へと変更する。</p> <p>なお、2023年度（令和5年度）以前の入学生については、国際福祉開発学部国際福祉開発学科という名称で就職課程認定を受けていることから、2024年度（令和6年度）入学生より国際学部国際学科とする。</p>			
在校生への対応	<p>新名称は、2024（令和6）年度入学生から適用する。</p> <p>また、在学生に対しては全学生対象の新年度オリエンテーションを通して説明するとともに、保護者等に対しては大学HPを通じて情報発信を行う。</p> <p>なお、旧名称は当該名称で入学した学生が卒業するまで存続させる。</p>			